

萬世大路

東北中央自動車道 (福島～米沢北) 通信

第69号 平成29年8月 発行

万世大路

栗子峠の歴史

明治以前の福島～米沢間の往来は、伊達正宗が開いたといわれる米沢街道（板谷峠越えの道）が主でした。しかし、道幅は狭く急勾配の連続で、しかも冬期間は積雪が多く交通に支障をきたしていました。

第1代目

明治9年、山形県初代県令三島通庸の発令によって、当時としては異例の大規模な道路の建設が着工されました。この工事最大の難所であった栗子山隧道は延長870m、ほぼ山頂に近い標高880mを通過し、日本初の長大トンネルでした。世界にまだ3台しかないアメリカ製の掘削機械を使い、オランダから招いた技師のもとで最新の技術で掘り進められました。

明治14年に全線が開通し、同年10月に東北を訪れていた明治天皇を迎えて盛大な開通式を行いました。この時、明治天皇より「萬世ノ永キニ渡リ人々ニ愛サレル道トナレ」という願いをこめて『萬世（万世）大路』の名前を賜りました。

第2代目

昭和の時代に入り、人馬交通から車も通れるようにと道路の拡幅や木橋をコンクリート橋や鋼橋に架け替える改良工事が行われ、昭和12年に2代目栗子隧道が完成しました。

これにより、福島・米沢間は2時間30分で結ばれることになりましたが、冬期5ヶ月間は2メートルを越す積雪のため、交通止めを余儀なくされていました。



初代栗子山隧道



2代目栗子隧道

第3代目

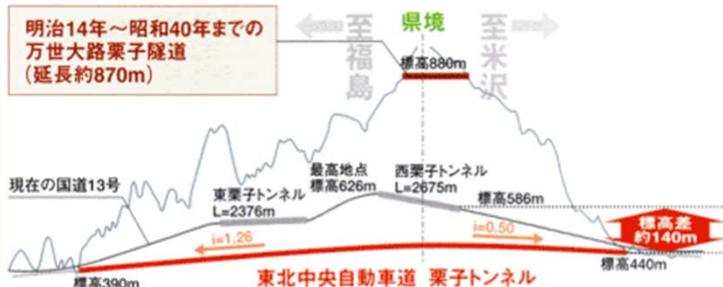
万世大路は昭和27年に一級国道13号に指定されました。

その後、昭和30年に入り国内の経済発展に伴い進展した自動車交通に対応できるよう、ルートの見直しを行い現在の西栗子トンネルと東栗子トンネルによるルートに変更。昭和41年に「国道13号（栗子ハイウェイ）」が完成し、これに伴い万世大路は役割を終え廃道となりました。

第4代目

現在建設中の東北中央自動車道の栗子トンネルは、万世大路の直下を約9kmの延長で通過します。現在の国道13号のトンネルに比べ坑口標高を約180m下げることにより、「より信頼性の高い・雪に強い」道路を目指します！

万世大路から東北中央自動車道への移り変わり



現在の西栗子トンネル



現場見学を組み込んだ観光ツアーが行われました！

6月24日(土)・7月1日(土)に福島交通観光の企画により東北中央自動車道の工事現場見学と万世大路ハイキング観光ツアーが行われました。
現在建設中の東北中央自動車道や旧国道13号「萬世大路」で栗子隧道を目指し歩き、その後は現在建設中の「東北中央自動車道」を見学しました。



歴史の道「万世大路」を歩きました！

栗子隧道
(2代目)



栗子隧道
(初代)



今回のツアーでは訪れませんでした
が、福島県側に「ニツ小屋隧道」
が残されています。

石組みの入り口には左右に門柱の
模様があり、当時としてはモダンな
建築といわれています。

夢を結ぶ
東北中央道



ご意見・お問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町260-2
TEL : 0238-37-5570 FAX : 0238-37-5575
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/banseitairo/banseitairo.html>

